



ぶちかませ やまぐち

BUCHIKAMASE YAMAGUCHI

今号は「ぶちかませヤマグチ」と題し、本誌全体を通して山口支部の選手を応援するプロジェクトを展開している。そのメインがこの特集で、山口支部の現状、過去、未来を様々な角度からひも解いていく。そして山口支部の秘めたる魅力を発掘していこう。



山口支部選手の現状

A1級13人が 支部をけん引する

支部ナンバー			男女比/世代別		登録番号別人数		級別 (24年後期)	
最年長	岡本慎治	61歳	男子	63人	3000-3499	4人	A1級	13人
最年少	出穂和鼓	16歳	女子	13人	3500-3999	14人	A2級	14人
通算最高勝率	白井英治	7.75	ヤング(30歳未満)	20人	4000-4499	25人	B1級	38人
通算最高1着数	岡本慎治	2644勝	マスターズ(45歳以上)	30人	4500-4999	13人	B2級	11人
歴代支部在籍人数		186人			5000-	20人		

山口支部全76選手一覧

3081 B1 岡本 慎治	3176 B1 長谷川 巖	3350 B1 藤本 佳史	3427 A2 大賀 広幸	3539 B1 金子 順一	3567 B1 吉岡 誠	3581 B1 加木 郁	3661 B1 柳瀬 興志
3682 B1 切田 潤二	3684 A2 清水 攻二	3711 A2 江本 真治	3875 B1 廣中 良一	3878 B1 胡本 悟志	3897 A1 白井 英治	3901 B1 松田 憲幸	3942 A1 寺田 祥
3961 A1 谷村 一哉	3976 B1 内田 圭	4005 B1 瀬川 公則	4007 B1 榮田 将彦	4009 A2 小林 一樹	4014 B1 片岡 恵里	4015 A2 前野 竜一	4017 A2 向井 美鈴

ふたかませ ヤマグチ

FUTAKAMASE YAMAGUCHI



4041 B1
小林 基樹



4045 A2
佐々木裕美



4064 A1
原田 篤志



4108 A1
吉村 正明



4158 B1
木場雄二郎



4179 B1
広次 修



4226 B1
村田 浩司



4237 A1
大峯 豊



4239 A1
竹田 辰也



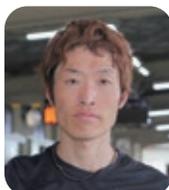
4251 B1
川崎 誠志



4263 A2
武重 雄介



4264 A1
長尾 章平



4361 A1
柳生 泰二



4324 A1
海野康志郎



4396 B1
大田 直弥



4425 B1
大井 清貴



4443 B1
津田 裕絵



4475 A2
末永 祐輝



4479 B2
矢野真梨菜



4567 B1
上村慎太郎



4592 B1
小林 孝弘



4601 A1
森野 正弘



4703 A2
森永 隆



4817 A2
渡邊 翼



4846 B1
佐藤 駿介



4871 B1
菊池 宏志



4890 A2
石川 諒



4896 B1
花本 剛



4950 A2
高岡 竜也



4970 B2
井町 泰



4980 A1
佐々木完太



4985 A1
井本 昌也



5000 B1
岡本翔太郎



5027 B2
重富 勇哉



5064 B1
品川二千翔



5067 B1
山田 真聖



5083 B1
柳瀬 幹太



5106 A2
山崎 祥



5123 B1
福山恵里奈



5145 B1
島川 海輝



5146 B1
野田 彩加



5163 B1
清水 愛海



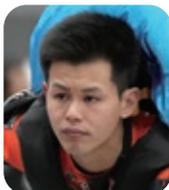
5176 B2
石倉 拓美



5180 B2
藤本紗弥香



5231 B1
寺田 空詩



5238 B1
笹木 香吾



5311 B2
小林 京平



5336 B2
瀬川 大地



5342 B2
原村 百那



5375 B2
庄島 潤成



5387 B2
戸田海咲音



5391 B2
出穂 和鼓



全国から見た 山口支部の立ち位置

山口復権のカギは中堅世代

山口の県民性を調べると「義理堅く人情味がある」、「真面目で努力家」、「プライドが高い」といった言葉が並ぶ。山口は明治維新で活躍した長州藩が前身であり、近代日本においては総理大臣を8人も輩出している。リーダーシップが高い県民性と言えるかもしれない。

では、ボート界における山口支部の選手についてはどんな印象を持っているだろうか。「地味」、「ベテランは強い」、「爆発力に欠ける」など、残念ながらあまりいい印象が持たれていない。

実際に成績を見てみると、今年の年間勝率は5・16で18支部中16位の。級別の割合でも、本来20%ずついるA1級とA2級は17・3%と18・7%。平均に届いていない状況。

メモリアルの推薦も白井英治と寺田祥が固定で、残りの2枠をその時のA1級で争っている状況なのだが、彼らの地位を脅かすどころか、続く選手も出てきていないのが現状だ。

白井も寺田も登録3千番台のマスターズ世代。まだ二人が強いからいいものの、早く次の世代が育たないとSGはおろか、GIでも山口支部が活躍する姿が見られなくなるかもしれない。

そのためにもどうすればいいのか。カギを握るのは4千番台の中堅世代。白井と寺田以外の選手が優勝したGIを探すと、19年中国地区選の海野康志郎まで遡らなくてはならない。

この層が結果を出せば、おのずと支部全体が活気づき、その波はベテラン、若手にも伝わっていくのではないだろうか。頑張れ、山口の中堅世代!!

表1-1 支部別平均勝率順位 (24/1/1~10/27)

順位	支部	人数	勝率	1着率	優出	優勝
1	滋賀	49	5.65	19.7%	156	34
2	大阪	109	5.55	18.5%	360	49
3	三重	56	5.44	18.5%	154	22
4	佐賀	55	5.40	17.3%	174	38
5	岡山	89	5.36	17.1%	256	40
6	兵庫	68	5.35	17.8%	202	39
7	香川	68	5.30	16.6%	188	31
8	愛知	140	5.28	17.2%	401	59
9	徳島	48	5.27	17.1%	116	24
10	静岡	92	5.25	16.0%	214	35
11	埼玉	105	5.23	16.6%	265	39
12	群馬	73	5.22	16.5%	174	33
13	福岡	232	5.19	16.3%	551	105
13	東京	178	5.19	15.4%	396	63
15	福井	47	5.17	16.3%	117	20
16	山口	76	5.16	15.6%	165	25
17	広島	76	5.13	15.1%	170	25
18	長崎	56	5.03	15.2%	111	14

表1-2 支部別級別割合 (24年後期)

支部	A1	A2	B1	B2
群馬	12.7%	29.6%	46.5%	11.3%
埼玉	21.9%	18.1%	46.7%	13.3%
東京	14.4%	22.8%	50.6%	12.2%
静岡	21.1%	15.6%	55.6%	7.8%
愛知	20.4%	20.4%	47.9%	11.3%
三重	25.0%	19.6%	44.6%	10.7%
福井	14.9%	21.3%	55.3%	8.5%
滋賀	33.3%	18.8%	33.3%	14.6%
大阪	25.0%	26.9%	39.8%	8.3%
兵庫	26.5%	14.7%	48.5%	10.3%
徳島	17.4%	23.9%	50.0%	8.7%
香川	23.5%	22.1%	42.6%	11.8%
岡山	26.1%	17.0%	52.3%	4.5%
広島	18.7%	18.7%	53.3%	9.3%
山口	17.3%	18.7%	52.0%	12.0%
福岡	19.0%	15.6%	55.0%	10.4%
佐賀	19.3%	24.6%	52.6%	3.5%
長崎	13.0%	18.5%	61.1%	7.4%





若手の 活性化が 支部の起爆剤に!

若手の育成が課題

今の山口支部は、良くも悪くも穏やかでおとなしい選手ばかり。昔は個性の塊で、県内でも西の選手と東の選手がぶつかり合っていました。年一の集まりでもグループ同士で競い合って、収集がつかないこともしばしば。

それに比べて今は粒が小さいというか、レベルが低い。特に若手が伸び悩んでいる感じがします。個性的な選手がいるわけじゃないし、支部としての力強さや発信力に欠けていると思います。

支部が盛り上がるためのカギを握るのは若手だと思います。ヤングダービーとかに出るくらいの年代の選手が突き上げれば、上の世代も負けまいと活気づくんではないかね。

練習ひとつとってもそう。山口県は下関も徳山もあるし、選手数が少ないから1日練習の日なんかは、水面を使い放題、乗り放題。環境は整っているんですけど、それを持って余してる。強い選手と練習しないと絶対に強くなれないのに、同じレベルで集まって練習することばかり。

じゃあ、こちらから強い選手を派遣する仕組みを作らなきゃかという、それは違うと思うんです。それぞれがプロの選手で、ライバル。もつと言えれば敵です。一流の技術を簡単に得られると思うのが甘い。強くなりたいのであれば、先輩を呼ぶ努力をするべき。「忙しいから行けない」って一度断ら

れたくらいで、諦める子ばかり。それでも真剣にお願いすれば、その時はダメでも先輩は応えてくれますよ。若い子の中にはB級で満足している選手もいるし、向上心がないのを見て取れてしまうのが残念だし、悔しいですね。

叩いても響かない。もうちょっと頑張れば強くなれる素質の選手はいっぱいいるんですよ。それだけにもったいない。

ただそんな選手たちも顔つきが変わるタイミングがあるんです。それがデビューして3年後。そう、4期通算(退会勧告)のカウントが始まる時です。今の選手たちはコースを取るようになってたら勝てるようになるって思ってる人がすごく多いんですけど、コースを取っても力がなければなかなか勝てない。その現実がわかるのがちょうどこの頃。そうなる焦りだして、スタート事故をしたりして余計に悪循環にハマる。だから折を見て話してはいるんですけど、自分は大丈夫って思っちゃうんですよ。

ホント、若手の育成がうまくいっている愛知や滋賀などに聞いてみたいですね。どういう風に育てているのか。うちだと佐々木完太、井本昌也、あと島川海輝がちよつと力をつけてきたくらい。まだ数が少なすぎる。

師匠から指導員へ

山口支部では師匠制度をなくして、指導員制度を導入しました。これは、新人選手がデビューして



1年間、近場の先輩に動き方なんかを教わります。その間にいろんな先輩と出会い、付き合っていく中で、自分の性格も売り込めるし、相手もその選手のことを知ることが出来る。

1年経ったら自動的に指導員は解除となり、新人選手はどこかのグループに入りたいたいか、この先輩と一緒にやりたいと思ったら、自分で門を叩くというシステムです。それを受け入れるかどうかは、先輩が判断します。やっぱりどんな性格かわからないのに、師匠と弟子になるのって難しいんですよ。お互いを知った上で、関係を築いていこうということで、このシステムになりました。

これも起爆剤になればという思いもあります。先輩の面倒を見るようになったら、先輩も頑張らなきゃいけないですから。

徳山&下関 地元巧者を探せ

表2-1 地元の徳山巧者ベスト20

順位	登番	選手名	勝率		差
			全国	徳山	
1	3976	内田 圭	4.22	5.02	0.80
2	4158	木場雄二郎	4.96	5.75	0.79
3	4014	片岡 恵里	5.06	5.74	0.68
4	3897	白井 英治	7.96	8.60	0.64
5	3942	寺田 祥	7.13	7.76	0.63
6	4239	竹田 辰也	6.61	7.11	0.50
7	3427	大賀 広幸	5.76	6.25	0.49
8	4567	上村慎太郎	4.17	4.65	0.48
9	4263	武重 雄介	5.68	6.14	0.46
10	3176	長谷川 巖	4.65	5.09	0.44
11	3711	江本 真治	6.12	6.53	0.41
12	3661	柳瀬 興志	5.01	5.40	0.39
13	5000	岡本翔太郎	4.33	4.71	0.38
14	4064	原田 篤志	6.75	7.12	0.37
15	3684	清水 攻二	5.61	5.97	0.36
16	4237	大峯 豊	6.97	7.29	0.32
17	4817	渡邊 翼	5.63	5.93	0.30
18	5083	柳瀬 幹太	3.98	4.26	0.28
19	4361	柳生 泰二	6.95	7.22	0.27
20	4396	大田 直弥	5.32	5.58	0.26

(21/10/1~24/9/30)



徳山のインで無類の強さを発揮する内田圭



徳山

内田圭のインは絶対買い！
白井英治の勝率は桁違い

徳山のトップは内田圭。年間6節以上当地を走る内田は、普段よ

りも0・80もアップする。その秘訣はイン戦にある。普段のイン1着率は53%ほどだが、ここ徳山においては69%までアップする。3連対率まで上げると97%まで上がるので、徳山でのインは絶対に買いだ！

2位の木場雄二郎はB1級だが、徳山ではA級の走りに変わる。3位の片岡恵里も同様で、片岡の場合は混合戦を走っても勝率を落とさないところに特徴がある。エースの白井英治は下関でも強いが、徳山の方が上昇の幅がや大きい。

表2-2 地元の下関巧者ベスト20

順位	登番	選手名	勝率		差
			全国	下関	
1	4226	村田 浩司	4.05	4.92	0.87
2	3942	寺田 祥	7.13	7.78	0.65
2	4425	大井 清貴	4.64	5.29	0.65
4	3878	胡本 悟志	4.41	4.95	0.54
4	4005	瀬川 公則	3.98	4.52	0.54
6	4237	大峯 豊	6.97	7.47	0.50
6	4896	花本 剛	4.18	4.68	0.50
8	3961	谷村 一哉	6.67	7.13	0.46
8	5145	島川 海輝	4.56	5.02	0.46
10	4041	小林 基樹	4.50	4.95	0.45
10	3897	白井 英治	7.96	8.41	0.45
10	3711	江本 真治	6.12	6.57	0.45
10	4007	榮田 将彦	4.75	5.20	0.45
14	4475	末永 祐輝	5.97	6.40	0.43
14	4045	佐々木裕美	5.25	5.68	0.43
16	3567	吉岡 誠	4.12	4.54	0.42
16	4108	吉村 正明	6.46	6.88	0.42
18	4361	柳生 泰二	6.95	7.33	0.38
19	4324	海野康志郎	6.84	7.20	0.36
20	4009	小林 一樹	5.83	6.17	0.34

(21/10/1~24/9/30)



村田浩司はスローで狙い！



下関

走れば活躍する村田浩司
SG優勝実績のある寺田祥

1位の村田浩司は年間3節ほどと地元の割にそれほど多く下関を

走るわけではないが、出走すれば一定の成績を残す。全国成績と比較すると1〜3コースを中心に1着を取る割合が少し高まるので、それが勝率にも反映されているようだ。

寺田祥は下関で0・65アップするが、徳山でも0・63上昇するので、どちらもエースにふさわしい活躍ぶり。下関ではSGタイトルもある。
大井清貴は大きな着を取ることもあるが、波に乗ると強い。しかも地元3大競走(正月・GW・お盆)で活躍する傾向がある。



白井英治・寺田祥に続く SG覇者は？

山口支部のタイトル事情

表3-1 山口支部選手のSGタイトル (2014年以降)

年	場名	タイトル	選手名	決まり手
2014	若松	メモリアル	白井 英治	まくり
2017	若松	メモリアル	寺田 祥	逃げ
2018	徳山	グランドチャンピオン	白井 英治	逃げ
2020	下関	メモリアル	寺田 祥	逃げ
2022	大村	グランプリ	白井 英治	逃げ

表3-2 山口支部選手のGIタイトル

年	場名	タイトル	選手名	決まり手
2014	下関	60周年	今村 豊	逃げ
2015	児島	中国地区選	白井 英治	逃げ
2015	児島	マスターズC	今村 豊	逃げ
2016	徳山	62周年	谷村 一哉	逃げ
2016	宮島	中国地区選	谷村 一哉	まくり差し
2017	津	マスターズC	今村 豊	逃げ
2017	下関	63周年	白井 英治	逃げ
2017	児島	65周年	寺田 祥	逃げ
2019	下関	中国地区選	海野康志郎	まくり
2019	大村	66周年	白井 英治	逃げ
2020	徳山	66周年	寺田 祥	まくり
2020	下関	65周年	白井 英治	逃げ
2020	若松	BBCトーナメント	寺田 祥	逃げ
2021	津	69周年	寺田 祥	逃げ
2022	下関	中国地区選	寺田 祥	逃げ
2022	徳山	69周年	白井 英治	差し
2023	芦屋	70周年	寺田 祥	まくり差し

表3はこの10年における山口支部選手のSG・GIタイトルだ。ご覧の通り、ほとんど白井英治と寺田祥の名前しかない。この二人に続く選手が出てこないことは、支部の盛り上がりはない。そこで今後タイトルを期待する選手をピックアップしていこう。

まずはSG。こちらは大峯豊と柳生泰二。大峯はエンジン出しのレベルが高く、レース巧者。1着を並べるタイプではないが、トータルで成績をまとめてくる。8月の丸亀メモリアルの時には、優勝メンバーにも引けを取らないくらいまで仕上げていた。

一方の柳生は確かなスタート力が最大の武器。それを生かす伸びがいついたとき、チャンスが訪れそう。3月の戸田クラシックでは優出まであと一歩だった。GI優勝を飛び越えてSGタイトルを先に

取ることだって十分にある。続いてGI。こちらは若手の佐々木完太と清水愛海を指名。佐々木は22年に大村モーターボート誕生祭でGIの優勝実績があり、ここ一番の勝負強さは証明済み。地力は年々高まっており、GIでも予選を突破する機会は増えている。記念戦線に定着することができれば、遠くない未来にタイトルを獲得するだろう。

清水はデビュー当初から「逸材」と評判が高く、駆け足で成長してきた。しかしスタート事故で大ブレーキ！ただその足かせがなくなると本来の力を発揮し、B1級から一気にA1級初昇格を決めた。いずれは女子のGIタイトルを獲得するだろうが、その先の混合GIやSGも期待してしまうほどのポテンシャルを秘めている。歴史を作る一人になってほしい。



清水愛海
★★



佐々木完太
★★★★

next GI



柳生泰二
★★



大嶺豊
★★★

next SG

※★は期待度



発掘! 山口の個性派 レーサー

山口インの三銃士



吉村 正明



竹田 辰也



佐々木 完太

表4-1 イン1着率ベスト10

順位	登番	選手名	イン1着率	勝率
1	4108	吉村 正明	84.0%	6.77
2	4239	竹田 辰也	83.3%	6.78
3	4980	佐々木 完太	80.6%	7.16
4	4324	海野 康志郎	78.6%	7.00
5	4064	原田 篤志	77.8%	6.46
6	3875	廣中 良一	76.9%	4.36
7	4361	柳生 泰二	76.5%	7.16
8	4017	向井 美鈴	75.8%	5.58
9	3961	谷村 一哉	69.2%	6.35
10	4237	大峯 豊	68.8%	7.24

(23/11/1~24/4/30)

“鬼強”のイン巧者たち

「個性ある選手が少ない」と支部長の江本真治は話していたが、決してそんなことはない。探してみると個性的な選手がたくさんいる。

山口支部というと、伝統的にイン戦が強い選手が多い。吉村正明は10年以上、この信頼度をキープしている。その弟子である佐々木完太もルーキー時代からインは鉄板クラス。さらに竹田辰也も含めて80%オーバー。この3選手は集計期間によっては90%を超えることもある。

特注は6位の廣中良一。勝率4.36に対して、イン1着率76.9%はあまりにもいびつな数字。これぞ個性派にふさわしいイン特化型のレーサーだ。

伸びで注目



小林 京平



末永 祐輝

スタート力生かして初V

常に爆伸びさせるほどの個性派はいないが、それに近い伸び寄りの調整を施す選手は何人かいる。その指針となるのが展示タイムの平均順位。1位になったのは新人の小林京介。チルトを0度や0.5度にすることが多く、伸びによる一撃を狙っている。8月に徳山で初1着の水神祭を達成すると、10月には下関で通算2勝目。穴党は今後要注目だ。

表4-3 平均展示順位ベスト5

順位	登番	選手名	平均展順	勝率
1	5311	小林 京平	2.01	2.16
2	4475	末永 祐輝	2.04	5.55
3	4601	森野 正弘	2.09	6.84
4	4871	菊池 宏志	2.13	4.48
5	5145	島川 海輝	2.30	5.96

(24/1/1~10/27)

スタート王



渡邊 翼



森野 正弘

スタート力生かして初V

山口のスタート王は渡邊翼！ 平均スタートは0.13で4人が並ぶが、そのなかでも平均スタート順位が最も早く、質のいいスタートが決められている。7月に芦屋でデビュー初優勝を決めたが、その時も3コースから出し抜けたスタートを決めてまくり切った。この武器を生かしてA1級初昇格を狙いたいところだ。

表4-2 平均スタート順位ベスト5

順位	登番	選手名	平均ST	平均S順
1	4817	渡邊 翼	13	2.44
2	4108	吉村 正明	13	2.54
3	4601	森野 正弘	13	2.61
4	4703	森永 隆	13	2.69
5	4009	小林 一樹	14	2.73

(24/1/1~10/27)



頑張れ山口 ルーキーズ

未来は
女子王国に!?

表5-1 スター候補選手

年	徳山		下関		トップルーキー	
2020	4950	高岡 竜也	4980	佐々木完太	-	
	4985	井本 昌也	4890	石川 諒		
2021	4950	高岡 竜也	4985	井本 昌也	-	
	4980	佐々木完太	5000	岡本翔太郎		
2022	5000	岡本翔太郎	5064	品川二千翔	4980	佐々木完太
	5067	山田 真聖	5083	柳瀬 幹太		
2023	5064	品川二千翔	5163	清水 愛海	4980	佐々木完太
	5106	山崎 祥	5146	野田 彩加		
2024	5163	清水 愛海	5145	島川 海輝	-	
	5106	山崎 祥	5146	野田 彩加		

日本支部長からゲキを飛ばされた若手選手。彼らが未来の支部を背負うのだから厳しい言葉を糧に成長してもらいたいところ。

毎年若手の有望選手を強化・育成する目的で選出される「スター候補選手」。過去5年分のリストを見ると、トップルーキーを経験した佐々木完太をはじめ、井本昌也、高岡竜也などA級経験者も多く、ここに選ばれる選手たちの素材は一級品といえる。

注目一番手は今号の「今狙える選手に訊く」にも登場した下関フレッシルーキーの島川海輝。A2級に昇格後、B1級に落ちたが、そこからジャンプアップしてA1級を決めた。まくり、まくり差し、差しとなんでもできる器用さが最

表5-2 成長度ベスト10

(30歳以下限定)

順位	登番	選手名	勝率		差
			24後期	25前期	
1	5145	島川 海輝	4.93	6.55	1.62
2	5163	清水 愛海	5.32	6.41	1.09
3	5123	福山恵里奈	3.08	4.10	1.02
4	5146	野田 彩加	4.78	5.77	0.99
5	5083	柳瀬 幹太	4.14	4.68	0.54
6	5064	品川二千翔	4.83	5.29	0.46
7	5238	笹木 香吾	3.01	3.39	0.38
8	4985	井本 昌也	6.33	6.62	0.29
9	5336	瀬川 大地	1.13	1.30	0.17
10	5311	小林 京平	1.99	2.14	0.15

※25前期は24/5/1~10/27

大の持ち味で、この勢いに乗って山口を代表する看板レーサーに成長してほしいもの。

そして2年連続で選ばれた女子二人、野田彩加と清水愛海。どちらもフレッシルーキーに選ばれたタイミングで急激に成績が上がった。特に野田の成長は目を見張るものがあり、1月からはA2級に初昇格する。コツコツ蓄えた地力が一気に開花した。

成長度でいうと、前期よりも勝率を1点以上も上げた福山恵里奈。まだまだ粗削りながら、道中で戦えるようになり、舟券絡みが増えてきた。順調にいけばこの1、2年のうちにA級昇格が狙えるのではないだろうか。

山口支部は女子が13人しかないのだが、そのうち8人が登録5千番以降と若い選手が多い。彼女たちが飛躍すれば、山口が女子王国として全国に名前をとどろかせる日が来るかもしれない。



野田彩加
★★★★★



福山恵里奈
★★★



清水愛海
★★★★★



島川海輝
★★★★★